

- 健康で生きがいのある小豆島の創生に向けて、「道の駅」をその中核を担う拠点として位置付け。
- 福祉関連施設の「サン・オリーブ」では、介護予防教室や健康教室、健康に関する講演会等、地域住民の健康増進に資する様々な取組を実施。
- オリーブを核として「道の駅」全体であげた収益を「サン・オリーブ」の運営に還元することで、これらの健康増進の取組を維持し、継続的な住民サービスを実現。



道の駅
「小豆島オリーブ公園」
香川県小豆島町
人口 約14.9千人
面積 約95.6km²

健康増進に資する取組の実施

◇介護予防教室を開催、介護予防のための体操等を実施。
(月4回程度、10~15人/回が参加)



◇「オリーブを用いた健康長寿の島づくり」等、健康に関する講演会を開催
(年数回程度、200人程度/回が参加)



◇小豆島健康教室を開催、イスに座ったままできる体操等を実施。
(月3回程度、60人程度/回が参加)



「道の駅」全体の収益を活用した住民サービス維持の仕組み

- ◇「道の駅」では、オリーブを中心とした小豆島の特産品を取り揃え、観光客等への販売を促進。
- ◇「道の駅」内の販売収入等を生きがい中核施設「サン・オリーブ」の運営に活用し、住民サービスを維持。

